

荒川区自殺対策計画（素案）に対する パブリックコメントの実施結果について

（１）募集期間

令和元年 9 月 1 日～令和元年 9 月 1 7 日（ 1 7 日間）

（２）実施方法

荒川区自殺対策計画（素案）を障害者福祉課、区役所地下 1 階情報提供コーナーにおいて閲覧に供するとともに、荒川区ホームページに掲載しました。また、令和元年 9 月 1 日発行のあらかわ区報でパブリックコメントを周知しました。

（３）意見提出数

3 人（4 件）

（４）意見の概要及び意見に対する区の考え方

計画への反映（ : 新たに記載・修正 / : 既に記載 / : 計画の性質から記載せず / : 区の考えと異なるため記載せず / - : 対象外であるため記載せず / : 今後検討）

	分野	意見の概要	区の考え方
1	若年世代の自殺予防事業	全体の自殺者数は減っているのに、若者の自殺者数は横ばい状態が続いているという現状であるが、若者が相談しやすい事業とするための創意工夫や新たな事業を積極的に取り組んで欲しい。	生きづらさを抱えた若者が相談しやすいようパソコンや携帯電話などを使い、メール、電話、面接による相談ができるよう、NPO 法人 BOND プロジェクトに委託し、若年世代の自殺予防相談事業を実施しています。10 歳代～20 歳代の女性が多く利用しています。30 歳代の方からの相談にも対応しています。 また、都が実施している SNS 相談「相談ほっと LINE @東京」でも相談を行っていますので、周知に努めてまいります。

2	自殺対策全般	<p>人生で自殺を選択せざるを得なかった人々は、様々な心の闇と戦った出来事であったと、誠に遺憾に思っています。</p> <p>荒川区では、あらゆる分野から探って、自殺対策の取組をされていきました。行政の力、大いに期待しております。</p>	<p>人が自らの命を絶とうとする背景には、健康・家族・経済問題などが複雑に絡み合って、死を選択せざるを得なかった末の死です。</p> <p>区では、かけがえのない命を自殺で亡くす人を救えるよう、ゲートキーパー研修や講演会、図書館展示などを行っております。今後はより多くの方に自殺対策に関心をもっていただけるよう、普及啓発に努めて参ります。</p>	
3	普及啓発	<p>荒川区の自殺対策の方向性が分かりやすく、多くの関連施策があることが分かりました。</p> <p>自殺しようとして悩んでいる人が、区のホームページから検索できるようにすることで、いろいろな相談機関があることを簡単に探すことが、自殺対策にも重要であると考えます。</p> <p>インターネットによる周知の創意工夫とありますが、具体的な方向性を示してほしい。</p>	<p>区のホームページの「荒川区いのちと暮らしの相談ナビ」から、外部サイトにリンクし、悩みに応じた荒川区及び全国の相談窓口を簡単に検索することができます。</p> <p>今後とも、区民の方への相談窓口を分かりやすく検索できるよう、ホームページの充実を図ります。</p>	
4	人材育成	<p>自殺対策の担い手であるゲートキーパー研修について、受講者数を増やすための工夫とどのような計画をしていますか。</p>	<p>命の門番ともいえるゲートキーパーの育成につきましては、これまで区職員と区の事業を担っている施設等の職員を対象に実施してきました。</p> <p>これまでに約4,000人の方に受講していただきました。今後は、区職員は全数受講をめざします。また、2018年度からは区民対象の研修を実施してきましたが、さらに多くの方に受講していただけるよう、周知して参ります。</p>	